

プラチナ未来人財育成塾

参加報告

プラチナ未来人財育成塾での成長

菊池北中学校3年 井上凜音



私は、プラチナ未来人財育成塾に参加して多くの学びを得ることができました。

まず、講話を聞いて学んだことは大きく分けて四つあります。

一つ目は、視野を広げることで大切なことを見えてくるということです。自分や周りの一部の人の意見だけで考えていると、どうしても考えが狭くなってしまふので、もっと広い所に目を向け意見を聞いていくことで、新たな発見があるということを学びました。

二つ目は、言葉に出して伝えることが大切だ、ということ。たとえ同じ意見だったとしても、何も言わないのならいないのと同じだということを学びました。

三つ目は、相手の価値観を受け入れるということ。自分と違う意見があったとしても、それを間違いだとか否定せず受け入れることが大切だと学びました。

四つ目は、これからは再生可能エネルギーだけで生活していくことができるかもしれないということ。今ある物をリサイクルして鉄などを取り出してまた新しい物を作ったり、風力発電や太陽光発電などの自然エネルギーから生活に必要なエネルギーを作り出したりと、自然と共存しながら地球に優しい日本や世界になるということでした。そのことを

聞いて、これから色々と新しい施設や道具などが出来てくると思うので、それに対応できるように新しい情報を正しく理解していきたいです。

私は今まで、宇宙のことや2050年の世界のこと、国のお金のこと、仕事のことなどについて深く考えたことはありませんでした。今思えば、それはとてももったいないことだったと思います。私が何も考えていない間にも、日本や世界は進化し続けているということをもっと感じ、これからの日本を築いていくかもしれない私が、このままではダメだと改めて思い知らされました。

また、講話の後のグループワークでも、たくさん学べることを学ぶことができました。グループワークから学んだことは大きく分けて三つあります。

一つ目は、同じ講話を聞いていても、人によって心に残る言葉は違うということ。同じ方の講話でもさまざまな角度から話ができ、視野を広げることができると思いました。

二つ目は、友達の意見を聞いて自分の将来を考えることができました。普段はあまり話さないような将来のことを聞くことができ、それを参考に自分の将来を考えることができました。

三つ目は、自分や友達の長所を知

ることができました。自分が思っている以上に自分に長所があることに気が付き、友達の長所をたくさん見つけることができました。

最後に、私は同じグループのメンバーやチューターさん、シニアの方のおかげでも充実した5泊6日を過ごすことができました。初対面の人ばかりで初めは緊張していましたが、緊張したままではいけないと思い、自分から積極的に行動するよう心掛けました。自分から声を掛けたり自分の意見をしっかり伝えたりするうちに、日本中の中学生と仲良くなることができました。仲良くなることで会話も弾み、グループワークも宿泊も充実したものにすることができました。ちょうど帰る日に台風が近づいていて帰れなくなるかもしれないという話が出たときは、「泊まる日が増えたら良い思い出つくるうね。」と言えるくらい仲良くなりました。また、グループワークや面談で話が煮詰まってしまったときには、チューターさんやシニアの方がアドバイスしてくださり楽しく進めることができました。

プラチナ未来人財育成塾での学びと新しい友達を大切にしながら、これから何事にも積極的に参加して知識を深め、みんなと協力しながらがんばっていきたいと思います。



③チブサン古墳石室



④岩原双子塚古墳全景



遺跡位置図

- ①架姿尾高塚古墳
- ②チブサン古墳
- ③鍋田横穴
- ④岩原双子塚古墳
- ⑤江田船山古墳
- ⑥塚坊主古墳
- ⑦大坊古墳



銀象嵌入り鉄刀に描かれた馬(⑤出土品)



冠帽(⑤出土品)

古墳時代になると、各地の有力者が古墳を築造しました。菊池川流域でも、米作りなどで富を蓄えた集落の長により前方後円墳が造られ、装飾古墳など独特の文化が形成されました。

岩原双子塚古墳

山鹿市の岩原台地上にある岩原古墳群の中で、唯一の前方後円墳です。墳長約107mのとてもきれいな形で、県内最大級の規模を誇ります。一帯は公園として整備され、熊本県立装飾古墳館が隣接しています。

江田船山古墳

和水町の清原台地上に清原古墳群があり、この地域一帯の歴代の首長墓が並んでいます。その中で最も有名なものが江田船山古墳です。墳長は約62mと中規模ですが、出土した副葬品は冠帽や金の耳飾りなど極めて豪華であり、ほとんどが国宝に指定されています。中でも、75文

字が銀で象嵌された鉄刀は大変貴重な歴史資料で、当時この地域がヤマト政権と深い関係をもっていたことを示しています。

装飾古墳群

6世紀になると、清原古墳群の塚坊主古墳を皮切りに、菊池川流域でも古墳の内外に文様を描いた装飾古墳が造られました。装飾古墳文化は流域全体に広まり、玉名市の大坊古墳、山鹿市のチブサン古墳や鍋田横穴、菊池市の架姿尾高塚古墳などが造られました。約1500年前の彩色は驚くほど鮮やかなものもあり、鍋田横穴の人物像などは、墓の主を守ろうとする思いを今に伝えます。流域の装飾古墳の数は177基で全国一の密度を誇り、菊池川流域の古墳文化を大きく特徴づけています。

(担当：和水町社会教育課)

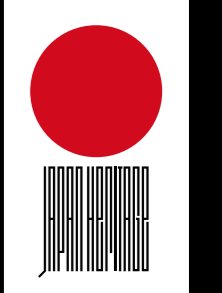
菊池川流域「今昔『水稻』物語」

古墳時代になると、各地の有力者が古墳を築造しました。菊池川流域でも、米作りなどで富を蓄えた集落の長により前方後円墳が造られ、装飾古墳など独特の文化が形成されました。

米作り、二千年にわたる大地の記憶

シリーズ日本遺産 ⑦

問い合わせ先
生涯学習課
社会教育係
☎ 0968(25)7232



イベント情報

熊本県内春季装飾古墳一斉公開

菊池川流域日本遺産の構成文化財である装飾古墳を2日間に分けて一般公開します。学芸員が解説しますので、この機会にぜひご覧ください。

公開日
3月24日(土)・25日(日)
午前10時～午後4時

場所
〔24日〕横山古墳(山鹿市)、塚坊主古墳(和水町)

〔25日〕鍋田横穴(山鹿市)、大坊古墳・石貫ナギノ横穴・石貫穴観音横穴・永安寺東古墳(玉名市)

問い合わせ先
県立装飾古墳館
☎ 0968(36)2151